

生物共生型護岸「堺浜・友海(ゆかい)ビーチ」における 生き物とのふれあいを通じた環境教育の実践



友海ビーチ



楽しみながらの調査

<活動内容>

大阪湾は垂直護岸が多く、生き物の観察できる海辺が限られている中、生物共生型護岸を活用し自然観察会を実施。多数の魚を捕まえることで大阪湾には生き物がないというイメージを払拭した。ただ調査するだけでなく、ヤドカリレースやかにレースといったアトラクション的な要素を含むなど子どもが楽しく学ぶ工夫が見られる。関西各府県2～70歳までの幅広い参加者があり、これまで延べ500名程参加した。本施設の愛称を地域から募集し、友海(ゆかい)ビーチに決定するなど地域へ愛着を促進する工夫も見られる。

活動主体

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

対象となる社会資本

堺2区生物共生型護岸

※管理者：近畿地方整備局(港湾空港部)